

大事な言葉を見つけて自分の方法で表現しよう 「サクラソウとトラマルハナバチ」

授業のポイント

思いや願いを豊かに表現できる子の育成を目指して

自分の行いたい方法で学び取ったことを表現しようとする子の育成

子どもの読みの実態は、言葉を拾いながら読む子ども、言葉の意味を考えながら読む子どもなど、さまざまである。一人一人に「文章を正しく読みとる」力を確実に付け、学び取ったことを表現する楽しさを味わえるようにするために、具体的な手だてを取り入れた。

単元の学習計画を立てる場面で表現方法の選択を行い、それに対応するよう段落の要点をまとめていく。

それぞれの表現方法は以下の通りとする。

- A テレビ番組のように要約文を読み上げる。
- B 要旨をまとめ、自分の意見を合わせて、スピーチコンテストと原稿にする。
- C サクラソウとトラマルハナバチの関係を図に表す。
- D サクラソウとトラマルハナバチの関係を劇で表す。

授業改善に向けての考察

自分の力で要約文を完成させること

- ・本時は自力なりにつくった要約文を持ち寄って話し合う1回目の授業である。
- ・本時では、子どもたちが紙芝居の説明やアナウンス原稿をまとめるという気持ちで学習に取り組み、自ら要約文を完成させることをねらった。
- ・その中で、大切な言葉を落とさず、要約文を作り上げることを目当てとした。

・ニュース原稿づくりのグループ

比較的自力で要約文を完成させることができていた。担任のねらいに直結した学習方法であったため、指導の内容が伝わりやすかったように思う。

・スピーチコンテストグループ

はじめに要旨をまとめるところからスタートしていたため、要点をとらえることができていた。文章による表現だったので、相互の学び合いを進めるのが難しかった。

・劇のグループ

「お互いにありがとうをいう」ことを劇のテーマとし、自分たちなりに読み取ったことを話し合っていた。内容の深まりを引き出す指導までには至らなかった。

それぞれのグループがよりよいものを求めて活動できるように助言していくために、表現方法を絞り込むことも必要だったと考えるが、どの子どももモチベーションを上げながら活動できる方法、内容について更に考察を深めていきたい。